

いよいよ旬です！ 長野県のぶどう

令和元年9月12日
農政部園芸畜産課

1 長野県のぶどう生産

長野県は山梨県に次いで全国2番目の生産県。
現在は、人気の「シャインマスカット」など、種なしで皮ごと食べられるぶどうの主産県となっています。

【H30 ぶどう栽培面積】

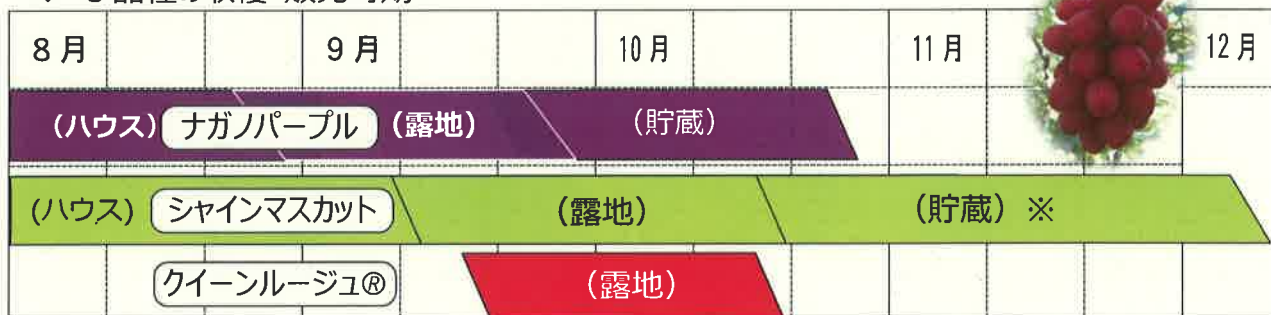
1位：山梨県 3800ha **2位：長野県 2270ha** 3位：山形県 1490ha

2 種なしで皮ごと食べられる品種の特徴

◆ 品種名・特徴等

品種・商標名	果皮色	長野県産の特徴など
ナガノパープル (県オリジナル品種)	紫黒	世界的な希少品種である「リザマート」を親に持つことから、歯ごたえと風味豊かな味わいを楽しめます。 ポリフェノールもたっぷり摂取できます。
シャインマスカット	黄緑	大人気の品種。長野県産は房の大きさや粒数を制限することで「深い味わいとおいしさ」を追及しています。
クイーンルージュ® (県オリジナル品種)	赤	美しい外観の他に糖度20%以上の甘さが自慢。クイーンルージュは商標名で、県内生産者のみ栽培可能。全国に先駆けて「赤い」種なし皮ごと品種として2022年にデビューを目指しています。

◆ 3品種の収穫・販売時期



※ シャインマスカットは長期にわたる冷蔵貯蔵が可能のため、年明けまでの販売が可能です。

(クイーンルージュ®)

3 生産拡大計画

品種・商標名	栽培面積 (ha)	
	2019(R1)年	2022(R4)年
ナガノパープル	141	280
シャインマスカット	396	425
クイーンルージュ®	20	100

「クイーンルージュ®」市場デビュー！
紫黒、黄緑、赤の果皮色のぶどうが揃います。

「長野県産のぶどうはカラフルでおいしい」といった市場評価を獲得し有利販売につなげ、産地の振興を図っていきます。

